

THE 66th IC ENGLISH CONTEST

第66回

茨城キリスト教学園英語コンテスト

中学弁論 ・ 中学暗唱 ・ 中学発音 ・ 高校プレゼンテーション ・ 高校発音

申し込みは
オンラインで!

2018年10月19日(金)
茨城キリスト教大学



申込締切 2018年9月30日(日)

主催:茨城キリスト教大学現代英語学科・茨城キリスト教学園高等学校

後援:茨城県教育委員会・日立市・日立市教育委員会

ICEE-Net (茨城キリスト教大学英語教育ネットワーク)

(株)茨城新聞社・(株)茨城放送・(公財)日本英語検定協会

(企業名50音順)

中学生部門

(弁論・暗唱・発音)

＜参加資格＞ 各部門共通の参加資格は下記の通りです。

- ①1校1名のみ参加可(弁論・暗唱・発音のいずれかの部門)。
- ②英語が話される環境に6ヶ月以上いた経験がないこと(インターナショナルスクールを含む)。
- ③本年度他のコンテストで入賞していないこと。

対象者および課題

(1) 弁論の部

- 1) 対象者 中学1～3年生
- 2) 課題 自由(原稿は未発表のものとしします)
- 3) 時間 4分以内(時間超過は減点します)
- 4) 審査基準 英文原稿の内容・発音・コミュニケーションをとろうとする姿勢を総合的に審査します。原稿はほぼ暗記していることが望ましく、原稿を見ながらの発表は減点の対象となります。また、適度なジェスチャーは加点の対象となりますが、過度なジェスチャーは逆に減点の対象となることがあります。

(2) 暗唱の部

- 1) 対象者 中学1～3年生
- 2) 課題 本校指定の英文課題
- 3) 審査基準 課題文の暗記状況・発音・コミュニケーションをとろうとする姿勢を総合的に審査します。原稿はすべて暗記していることが望ましく、原稿を見ながらの発表は減点の対象となります。また、適度なジェスチャーは加点の対象となりますが、過度なジェスチャーは逆に減点の対象となることがあります。

(3) 発音の部

- 1) 対象者 中学1～3年生
- 2) 課題 本校指定の発音課題
- 3) 審査基準 メッセージを的確に聴衆に伝えられているかどうかという観点から、母音・子音の発音、強勢・イントネーション・ポーズ・リズムなどの的確さについて審査します。

高校生部門

(プレゼンテーション・発音)

＜参加資格＞ 参加資格は下記の通りです。

- ①1校3名まで参加可(ただし、ひとり1部門のみ参加可)。
- ②英語が話される環境に6カ月以上いた経験がないこと(インターナショナルスクールを含む)。
- ③前年度の「茨城キリスト教学園英語コンテスト」において3位までの入賞をしていないこと。また、本年度他のコンテストで入賞していないこと。

対象者および課題

(1) プレゼンテーションの部

- 1) 対象者 高校1～3年生(個人による発表)
- 2) 課題 Come to Ibaraki!
(茨城県にもっと観光客を呼び込むためのプレゼンテーションを英語で行ってください。)
プレゼンテーションの終了後に審査員との英語での質疑応答があります。質問項目は、当日受付でお渡しします。
- 3) 時間 5分以上7分以内(時間不足・超過は減点します)
- 4) 審査基準 次の4項目について総合的に評価します。
 - ① 内容: 主題に沿った内容、適切な時間配分
 - ② 表現: 表現力、効果的なスライドの活用
 - ③ 英語: 正確・適切な語彙、発音、イントネーション
 - ④ Q&A: 審査員の質問に対する適切な応答

※ 原稿は暗記していることが望ましく、原稿を見ながらの発表は減点の対象とします。

(2) 発音の部

- 1) 対象者 高校1～3年生
- 2) 課題 本校指定の発音課題
- 3) 審査基準 メッセージを的確に聴衆に伝えられているかどうかという観点から、母音・子音の発音、強勢・イントネーション・ポーズ・リズムなどの的確さについて審査します。

表彰

中学生の弁論と暗唱の部は1位～5位まで、高校生のプレゼンテーションの部は1位～3位まで、発音の部は、中学生と高校生のそれぞれについて優秀者を表彰します。

申し込み期間

2018年9月1日(土)～9月30日(日) 23時59分

※ 申込書の受理確認と大会詳細は10月6日(土)までに電子メールでお知らせします。申込書には担当教諭の普段使用するメールアドレス(携帯電話会社のアドレス不可)をご記入ください。

資料の提出締切と送信方法

中学弁論の原稿(WORD文書)締切は参加申し込みと同じ期日(9月30日(日))ですのでご注意ください。

高校プレゼンテーションの資料(PowerPointおよび発表原稿WORD文書)の提出は10月12日(金)23時59分までです。10月13日(土)以降の差し替えは受け付けません。

WORD文書とPowerPointは、添付ファイルでicenglish_contest@icc.ac.jp にご送信ください。ファイルネームは次のように入ってください。

例) WORD文書: 学校名(氏名).doc (又は.docx)
PowerPoint: 学校名(氏名).ppt (又は.pptx)

※ プレゼンテーション会場で使用するPCのOSはWindows10です。
PowerPoint2010 (Mac 2011)以降のバージョンで作成してください。

申し込み方法

申し込みはオンラインで行ってください。専用のURL(www.gendaieigo.info/2018contest)上で、フォーマットにしたがって必要事項を入力し、Submitボタンをクリックしてください。

問い合わせ先

お問い合わせは、下記のメールアドレスをご利用ください。
メール: icenglish_contest@icc.ac.jp

当日のスケジュール(予定)

2018年10月19日(金)

9:00～9:30	受付	大学8号館
9:40～9:50	開会式	大学8号館
10:00～12:20	コンテスト	大学8号館 / キアラ館
12:20～12:40	記念写真撮影	(開会式でお知らせいたします。)
12:40～13:20	昼食	学食
13:30～14:00	表彰式	大学8号館
14:00	全プログラム終了	

学園案内図は裏面にあります。

その他

- ※ 昼食は軽食をご用意します。(無料)
- ※ 上履きは必要ありません。
- ※ コンテスト当日に撮影された写真は、本学園ホームページや学校案内パンフレット等に掲載させていただきます。

Hilda and Sampson

Hilda and Sampson were good friends. They always greeted each other with big smiles. Sometimes they even hugged when they met. But last Saturday, Hilda was surprised when she saw Sampson on the bus. He was sitting near the window, eating a chocolate candy bar. Hilda spoke first, "Oh, Sampson, it is wonderful to see you!"

But Sampson only grunted and continued eating his chocolate.

Hilda didn't understand Sampson's mood, but she sat down beside him and opened her book, "How to Help Our Friends." She read it for a few minutes, then she said, "Sampson, you seem miserable. Is there anything I can do to help you?"

This time Sampson spoke a few words, and in a louder voice: "Hilda, I am in pain. That is why I am eating this chocolate. Candy gives me comfort when I have trouble."

Hilda put her book away and looked directly at Sampson. She could see that he was very unhappy, even though he was eating a jumbo-sized candy bar. She noticed that he even had a small tear in each eye. "Oh, Dear Sampson, what is the problem exactly?" she asked.

"I have a toothache," he replied. "A toothache!" shouted Hilda, "That is terrible. The last thing you should do is eat a candy bar while you have pain in your teeth."

Sampson stopped chomping on the chocolate for a second, "Really? I did not know that," he said. "Certainly," replied Hilda. "Too much candy can ruin your teeth. You need to go to the dentist right away – and throw the candy in the trash."

Sampson managed a slight smile, "Hilda, you are so wise. I will follow your advice. No more candy for me. I will make a big change in my life. From now on, I will eat only cake and ice cream, he said.

"Hopeless," muttered Hilda, and she picked up her book again.

- ※ 名言、Nursery Rhyme、Bibleの全てが課題となります。
()内の名前は読む必要はありません。暗記は不要です。

名言 (中・高共通)

1. Originality is the fine art of remembering what you hear but forgetting where you heard it.
(Laurence J. Peter)
2. There is only one corner of the universe you can be certain of improving, and that's your own self.
(Aldous L. Huxley)
3. The whole problem with the world is that fools and fanatics are always so certain of themselves, but wiser people so full of doubts.
(Bertrand Russell)
4. When the power of love overcomes the love of power, the world will know peace.
(Jimi Hendrix)
5. I set out on a journey of love, seeking truth, peace and understanding. I am still learning.
(Muhammed Ali)

Nursery Rhyme (中学生部門)

For want of a nail, the shoe was lost,
For want of the shoe, the horse was lost,
For want of the horse, the rider was lost,
For want of the rider, the battle was lost,
For want of the battle, the kingdom was lost,
And all for the want of a horseshoe nail!

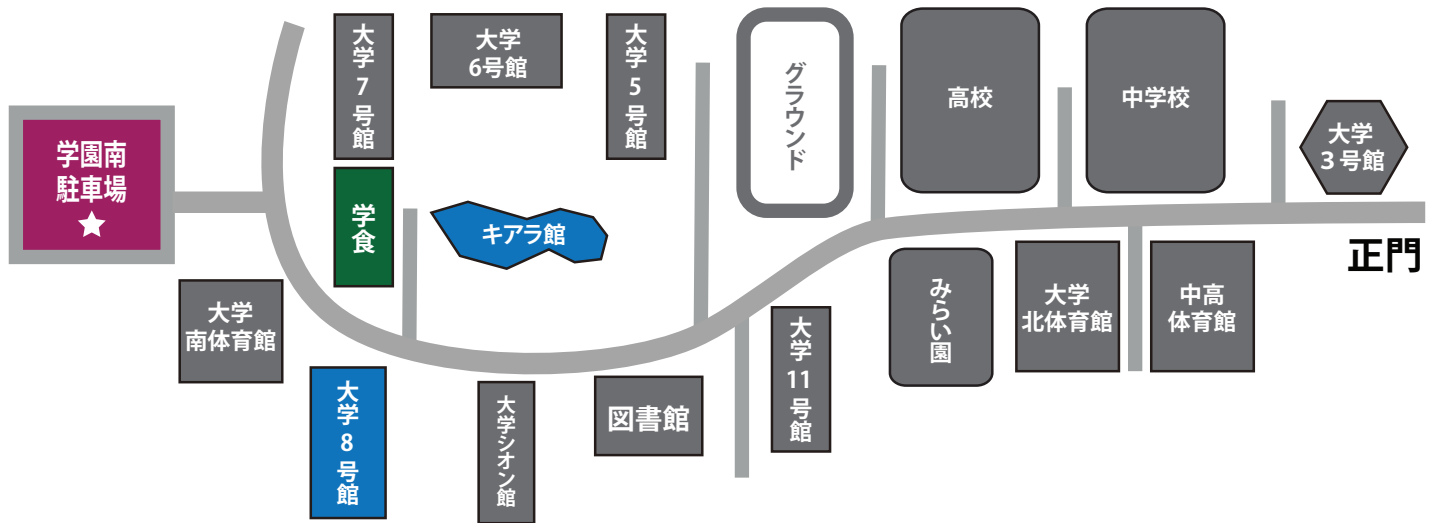
Nursery Rhyme (高校生部門)

This is the farmer sowing his corn,
That kept the cock that crowed in the morn,
That waked the priest all shaven and shorn,
That married the man all tattered and torn,
That kissed the maiden all forlorn,
That milked the cow with the crumpled horn,
That tossed the dog,
That worried the cat,
That killed the rat,
That ate the malt,
That lay in the house that Jack built.

Bible (中・高共通)

Keep on asking, and you will be given what you ask for. Keep on looking, and you will find. Keep on knocking, and the door will be opened. For everyone who asks, receives. Everyone who seeks, finds. And the door is opened to everyone who knocks.

学園配置図



常磐線大甕駅下車、徒歩 13 分です。
 駐車場が限られておりますので、公共交通機関をご利用ください。

総合学園のネットワーク

茨城キリスト教学園

茨城キリスト教大学大学院 (修士課程)

文学研究科	英語英米文学専攻 教育学専攻
生活科学研究科	食物健康科学専攻
看護学研究科	看護学専攻

茨城キリスト教大学

文学部	文化交流学科 現代英語学科 児童教育学科	児童教育専攻 幼児保育専攻
生活科学部	心理福祉学科 食物健康科学科	
看護学部	看護学科	
経営学部	経営学科	

茨城キリスト教学園高等学校

全日制普通科

茨城キリスト教学園中学校

完全中高一貫6年制教育 (男女共学)

茨城キリスト教大学附属認定こども園

みらい園・せいじ園
 幼保連携型認定こども園 (並列型)